

「旧いアルバム」より～

『アマゾン（天孫）号』

当社創業時(清水満之助本店 鉄工部)の1号社員であり、のちに東京鐵骨橋梁製作所の常務となった陣内満次さんが考案したものです。
当時あった東雲工場で製作し、取手工場に長らく保管していたようです。
陣内さん(生年1896年)は、若い時分から開拓精神が旺盛で、1928年にアマゾン興業株式会社の株主となって本気でブラジルへの移住を考えていましたが、両親の猛反対により諦め、移住のために現地に用意していた土地の権利などを実弟に譲渡しました。1961年に1か月半ほどアマゾン旅行を敢行し、後年アマゾン川を舟で探検する構想を立案しました。
1965年、『アマゾン旅行をやろうと、軽舟艇の創意考案にふけり図面を引き、佐賀製作所に製作せんと見積り調査す。』(陣内満次著「本来無一物」)



開設しばかりの取手工場に置かれたアマゾン号(1967年)



アマゾン号のイラスト(山本孝治さん)